



ホールで互いに距離を取り授業を再開(昭和中学校)

村内小中学校が段階的に再開

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言が解除されたことから、村内各小中学校が6月1日から、約2カ月ぶ



久々の集団登校(東小学校)

りに再開となりました。

東小学校では、集団登校で子どもたちが続々と登校。学校に久しぶりに元気な笑い声が戻ってきました。翌2日には朝礼が放送で行われました。

また、昭和中学校では、各学級の使用する教室をホールや特別教室など広いスペースに変更し、生徒間の距離を適度に保ち授業を再開しました。またこの日、スクリーンを用いたビデオ朝礼が実施されました。

元村長の故林秀英さんに従六位

去る1月22日に逝去された、元昭和村長の林秀英さん(滝久保、享年97歳)に対し生前の功績をたたえ、従六位が授与されました。

林さんは、農業委員会会長や3期12年にわたる村議会議員、そして村助役などを歴任し、平成4年5月に村長に就任。以来、2期8年にわたり在職し、村の玄関口となる関越自動車道昭和インターチェンジ

の開設や、住民福祉の拠点となる「総合福祉センター昭和の湯」の完成、次世代

を担う子ども育成のための中学生海外派遣事業による「アメリカ合衆国オレゴン州イーグルポイント市でのホームステイ交流」の開始など、村の根幹をなすインフラ、教育、福祉などの向上をはじめ、数々の事業を成し遂げ村の発展に多大な貢献をされました。

4月24日に、堤村長が林さん宅を訪問し、長男の誠一郎さんに対し、位記の伝達が行われました。



長男の誠一郎さんとその妻の文子さん

白木さん、原澤さんに10年表彰

10年表彰

群馬県スポーツ推進委員協議会などが主催する、第56回群馬県スポーツ推進委員研究大会が安中市文化センターなどで開催され、村スポーツ推進委員の白木英幸さん(赤倉)と原澤照美さん(宿)に10年表彰が贈られました。

白木さんと原澤さんは、スポーツ推進委員として地域住民の体育・スポーツ活動の振興に貢献され、この功績が高く評価されました。



白木さん(右)と原澤さん

4/15

第二保育園さんぽ体験

見事な桜で園児がお花見

第二保育園で、園児たちがお花見に出かけました。晴天に恵まれ、お花見日和となったこの日、園児たちは、満開となったキヤノン電子(株)横の桜並木の道をお散歩しました。



お花見の記念に(年長児)

4/1

村公民館の解錠施錠管理業務

長年務めた貝瀬さん夫婦が退任

村公民館が開館した昭和61年から、解錠施錠の管理に携わってこられた貝瀬さん夫婦が退任しました。落成当初は妻の幸代さんが、数年後に正さんが引き継ぎ、長年務めてこられました。大変お疲れさまでした。



貝瀬正さん・幸代さんご夫妻

5/19

新型コロナウイルス感染症対策

沼田青年会議所が消毒液を寄贈

沼田青年会議所(原澤史浩理事長)が役場を訪れ、18リットルのアルコール製剤6箱(108リットル)と、スプレーボトルを寄付してくださいました。各学校や保育園など、関係機関で有効に活用させていただきます。



目録を渡す原澤理事長(右から2人目)ら役員の皆さん

5/13

新型コロナウイルス感染症対策

加藤エンジニアが消毒液を寄贈

(株)加藤エンジニア(加藤将之代表)が、10リットル入りの消毒液45箱(450リットル)と、スプレーボトルを村内各保育園・小中学校、学校給食センター、学童クラブ、社会福祉協議会に寄付してくださいました。



加藤エンジニアさんと園児たち(第一保育園)

6/5

子育保育園で交通安全教室

安全を確認して道路をわたろう

子育保育園で交通安全教室が開かれました。当日は、昭和駐在所の小川正人所長が来園。安全な道路の横断のしかたを確認しました。園児たちは、しっかり止まって右手を上げ、左右を確認して渡っていました。



実際の道路で渡り方を学ぶ年長児

5/21

新型コロナウイルス感染症対策

沼田ロータリークラブが支援金を寄附

沼田ロータリークラブ(今井幸吉会長)が役場を訪れ、支援金20万円を寄付してくださいました。村では、新型コロナウイルス感染拡大防止のために支援金を有効に活用させていただきます。



目録を渡す今井会長